

Dell™ OEM ソリューション -
Microsoft® System Center
Essentials 2010

技術情報シート



備考



メモ：コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2010 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、EqualLogic、PowerEdge、PowerVault、Precision、Optiplex、Latitude、Vostro は Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2010年6月

目次

1	Dell OEM ソリューション – Microsoft System Center Essentials 2010 の概要	7
2	Essentials 2010 の高レベル機能	9
3	Essentials 2010 のインストール	10
	システム要件	10
	Dell ハードウェアへの Essentials 2010 OEM ソリューションのインストール	10
	1 台の Dell システムへの Essentials 2010 のインストール	11
	Dell PowerEdge システムへの Essentials のインストール	11
	Essentials 2010 の分散 システムへのインストール	13
	Essentials ユーザーコンソールの インストールおよび管理 サーバーへの接続	13
	Essentials 2010 OEM ソリューションと Essentials データベースの リモートシステムへのインストール	15
	Essentials 2010 へのアップデート	17

4	物理ハードウェア管理用 Dell Management Pack	18
	Dell Management Pack バージョン 4.0	18
	Dell Management Packs 4.0 の特徴	19
	Dell Performance and Resource Optimization Management Pack 2.0 (PROPack) の特徴	23
	Dell 管理パックと Dell PRO 管理 パックのインポート	24
5	サーバーおよびビジネスクラ イアントコンピュータ用 Dell Update Package と Dell カタログ	25
	管理下コンピュータを Dell カタログファイルでアップデートする	26
	Essentials 2010 ソフトウェアコンソールからの ソフトウェアの導入	28
6	役立つリンクおよびリソース	29
	Essentials 2010 の重要文書	29
	Microsoft Essentials 2010 オンラインリソース	30
	Essentials 2010 Knowledge Base 記事	30
	役立つ Dell のリンクおよびその他のリソース	31
	Dell 管理パックのダウンロードリンク	31
	Dell サーバーおよび Dell クライアントコンピュータ用 Dell アップデート	31

7	Essentials 2010 の ベストプラクティス	32
	Essentials 2010 に関する Microsoft のスケラビリティガイドライン	33
	重要度に基づいてフィルタする PRO Tips の設定	33
	Performance and Resource Optimization (PRO) Tips の設定	33
	VM 配置ホストを有効または無効にする	34
8	対応 Dell ハードウェア	34

Dell OEM ソリューション – Microsoft System Center Essentials 2010 の概要

Dell™ は Microsoft® と提携して、Microsoft System Center Essentials (Essentials) 2010 の OEM バージョンを提供しています。System Center Essentials 2010 は、最大 50 台のサーバーと 500 台のクライアントシステムをホストする中規模組織の IT 担当者向けの管理ソリューションです。Essentials 2010 ソリューションには、同じ管理コンソールから物理および仮想環境での IT エコシステムを管理する高度な機能が含まれています。


Dell OEM ソリューションは、サーバー統合、ビジネス継続、動的プロビジョニングを可能にし、複雑な管理作業を簡素化します。Dell 管理パックは、IT 効率を上げることで Essentials コンソールから Dell ハードウェアの管理を容易にできるようにします。統合 Essentials ソリューションと Dell Performance and Resource Optimization (PRO) 対応の管理パックは、仮想環境における作業負荷とアプリケーション対応のリソース最適化を行います。これによって、ダウンタイムを最小限にとどめ、仮想化環境に関する問題を解決する時間を短縮できます。

Essentials 2010 の単一コンソールシステムを使うと、IT システム管理者は IT 環境全体を容易にセキュリティ保護、アップデート、監視、そしてトラッキングできます。Essentials 2010 にはさらに、各種の情報を表示する多数の事前定義レポートを含む上、一般的なオペレーティングシステムコンポーネント、サービス、アプリケーションの監視を助ける管理パックがプリロードされています。

Essentials 2010 を使うと、組織内の Microsoft Windows® 搭載サーバー、その他のコンピュータ、およびネットワーク機器を一元管理できます。Essentials 2010 を使うと、以下の作業ができます。

- 物理コンピュータ、仮想マシン、およびその他の機器を管理し、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの在庫管理を行う。
- 管理下コンピュータと機器の正常性を監視する。
- **アップデート管理**機能を使って、アップデートの管理、インストール進行状況のトラッキング、問題解決を行う。
- **ソフトウェア導入**機能を使って、一元的なソフトウェアの導入、進行状況のトラッキング、問題解決を行う。

Essentials 2010 OEM ソリューションを対応 Dell 管理パックと組み合わせることで、以下のような Dell ハードウェアを管理できます。

- Dell PowerEdge™/PowerVault™ システム
- Dell Latitude™、Dell Optiplex™、Dell Precision™ システムといった Dell ビジネスクライアントシステム、および Essentials コンソール上の非管理グループに属する Dell Vostro™ システム。
 **メモ**：Dell Vostro™ システムに対しては、Dell Client Management Pack は Dell ハードウェアの分類のみをサポートし、監視は行いません。
- Dell ネットワークプリンタ
- MD 3000、MD 3000i ストレージアレイ、デイジーチェーン MD 1000 ストレージアレイなどの Dell PowerVault Modular Disk (MD) ストレージアレイ
- DRAC4、DRAC5、Integrated DRAC (iDRAC) 6 モジュール、iDRAC 6 モノリシック、DRAC/Modular Chassis、Chassis Management Controller (CMC) といった Dell Remote Access Controllers (DRAC)
- Dell EqualLogic™ Peer Storage (PS) シリーズアレイ

Essentials 2010 の高レベル機能

- **Essentials 2010 コンソール** : Essentials 2010 では、IT 環境管理用の統合管理コンソールを使用します。同コンソールは、Essentials 管理サーバー上で実行し、Essentials 2010 の全機能へのアクセスを提供します。Essentials 2010 コンソールは、Essentials 管理サーバーと Essentials コンソールが別々のシステムに実装されている分散環境にもインストールできます。異なるシステム上の同じ管理サーバー用に追加の Essentials コンソールをインストールすることもできます。
- **Essentials でのサーバー環境の仮想化** : System Center Essentials 2010 では、中小規模の企業が技術リソースを最大限に活用できるように、仮想化管理が可能です。仮想マシンは、完全なハードウェアシステムをエミュレートして、通常なら互いに非互換なオペレーティングシステムを同時に実行できるようにします。Essentials 2010 を使って仮想環境を監視し、十分に使用されていない物理サーバーを統合して新しい仮想マシンをすばやくプロビジョニングし、アプリケーションサーバーとして使用したり、同様な作業の実行に使用したりすることで、限られた IT リソースを最大限に活用できるようになります。
- **Essentials でのアップデート管理** : System Center Essentials 2010 を使うと、システム管理者は管理下コンピュータのオペレーティングシステムおよび他のソフトウェアで必要なソフトウェアアップデートを表示、ダウンロード、導入することができます。Dell は Microsoft と提携し、同じアップデート管理体験を通して Dell ハードウェアのアップデートをお届けしています。
- **Essentials 2010 OEM Experience** : Dell と Microsoft の提携の一環として、Essentials 2010 は、OEM ソリューションについての情報およびユーザーのハードウェア管理を手助けする OEM Experience を Essentials コンソールで提供します。Dell ロゴ、Dell WIKI リンク、Dell Management Pack のマニュアルへのリンク、Dell OEM Essentials ソリューションのマニュアルへのリンク、Dell eSupport リンクを、OEM Experience の一部としてご利用いただけます。

Essentials 2010 のインストール

システム要件

System Center Essentials のシステム要件と対応プラットフォームについては、[http://technet.microsoft.com/hi-in/systemcenter/essentials/bb422876\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/systemcenter/essentials/bb422876(en-us).aspx) を参照してください。



メモ：Dell 対応プラットフォームについては、「34 ページの「対応 Dell ハードウェア」」を参照してください。



メモ：インストール後の設定については、『System Center Essentials 2010 導入ガイド』の「System Center Essentials 2010 の設定」の項を参照してください。

Dell ハードウェアへの Essentials 2010 OEM ソリューションのインストール

Essentials 2010 OEM ソリューションは以下のトポロジでインストールできます。

- Dell システムにインストールされている Essentials 2010 OEM ソリューションの全コンポーネント
- リモート Dell システムにインストールされている Essentials コンソール付き Essentials 2010 OEM ソリューション
- リモート Dell システムにインストールされている Essentials データベース付き Essentials 2010 OEM ソリューション

System Center Essentials 2010 の導入、設定、トラブルシューティング、アンインストールの詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/ff603599.aspx> にある『System Center Essentials 2010 導入ガイド』を参照してください。

コマンドラインインタフェースを使用して Essentials 2010 を導入することもできます。コマンドラインを使った Essentials の無人および自動インストール方法の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/ff603580.aspx> にある『コマンドプロンプトを使って System Center Essentials 2010 をインストールする方法』を参照してください。

Essentials 2010 のインストールに関する推奨事項は、「33 ページの「Essentials 2010 に関する Microsoft のスケーラビリティガイドライン」」を参照してください。

1 台の Dell システムへの Essentials 2010 のインストール

この設定では、Essentials 2010 の全コンポーネントを 1 台の Dell システムにインストールします。このインストールオプションは、1 台のホスト上に全コンポーネントがインストールされるため、中規模企業の Dell ハードウェアの管理と監視に適しています。



Dell PowerEdge システム

Dell PowerEdge システムへの Essentials のインストール

Essentials 2010 をインストールするには

- 1 Dell PowerEdge システムを Essentials 管理サーバーとして指定します。指定されたサーバーは、ソフトウェアとハードウェアの全要件を満たす必要があります。これらの要件の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb437287.aspx> にある『System Center Essentials 2010 導入ガイド』を参照してください。



メモ： Essentials は、Essentials 2010 のハードウェア要件を満たす対応 Windows Server 2008 Hyper-v システムがホストする Dell PowerEdge システム上で稼動している仮想マシンにインストールできます。

- 2 光ドライブに Essentials のインストールメディアを挿入します。
- 3 メディア ディレクトリを参照して、SetupSCE.exe ファイルを実行します。
- 4 System Center Essentials 2010 セットアップウィザードが起動したら、リリースノートをクリックして、導入中に必要になる可能性がある重要情報をお読みください。
- 5 インストール をクリックして Essentials のインストールを開始します。



メモ： 製品のアップデートを確認するには、**System Center Essentials 2010 の最新アップデートを取得する オプション**を選択します。

- 6 **製品の登録** ページで、必要に応じて製品キーを入力し、**次へ** をクリックします。
- 7 **使用許諾契約** ページで、使用許諾契約内容を読んでから、契約を受け入れるチェックボックスを選択し、**次へ** をクリックします。
- 8 Essentials 2010 のインストール先のサーバーが該当するハードウェアとソフトウェアの各要件を満たす場合には、それぞれインストールできる追加コンポーネントが表示されます。インストールする Essentials コンポーネントを選択し、**次へ** をクリックします。
- 9 Essentials 2010 インストールプログラムは、インストール先のシステム環境で Essentials と選択したコンポーネントのインストールに必要なハードウェアとソフトウェアの要件が満たされているかをチェックして、最小限必要な要件が満たされていない場合には再確認するように指示します。システム要件上の問題を解決した後、**次へ** をクリックします。
- 10 Essentials 2010 は、データベースサーバーインスタンスを使って、Essentials が使用するデータを保存するためのデータベースをホストします。Essentials 2010 がこの目的で使えるローカルデータベースインスタンスを使うためのオプションを選択して、**次へ** をクリックします。
- 11 手順 7 でレポート コンポーネントを選択した場合は、Essentials レポート用に **Microsoft SQL Server® 2008 Reporting Services** インスタンスを指定することが必要になります。Essentials 2010 でサポートされている **SQL Server 2008 Reporting Services** のローカルインスタンスのみ選択できます。インスタンスを選択し、インスタンスが複数 URL を持つ場合にはレポートサーバーの URL を選択してから、**次へ** をクリックします。
- 12 Essentials 2010 にプログラムファイルを保存させるパスを指定します。**ソフトウェアファイルとアップデートファイル** セクションで、ソフトウェアファイルとアップデートファイルをローカルに保存するパスを入力するか、アップデートを個別に各管理下コンピュータに Microsoft Update からダウンロードします。**次へ** をクリックします。
- 13 仮想化管理コンポーネントファイルを保存するファイル場所を入力して、**次へ** をクリックします。
- 14 管理下コンピュータおよび指定された Essentials 管理サーバー上でソフトウェアやアップデートの導入などの管理タスクを行うための管理者資格を持つユーザーのユーザー名、パスワード、ドメインを入力して、**次へ** をクリックします。

- 15 顧客体験改善プログラム、エラーレポート、動作データレポートに参加するかどうかを選択して、**次へ**をクリックします。
- 16 **インストールの概要** ページを確認します。**前へ**をクリックして前のページに戻って変更するか、**インストール**をクリックして Essentials 2010 のインストールを開始します。



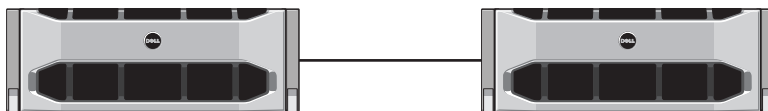
メモ：インストール後の設定の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/ff603585.aspx>にある『System Center Essentials 2010 導入ガイド』の「System Center Essentials 2010 の設定」の項を参照してください。



メモ：1台のシステムに Essentials をインストールする場合の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb422968.aspx>にある『System Center Essentials 2010 導入ガイド』の「System Center Essentials 2010 を1台のサーバー上にインストールする方法」の項を参照してください。

Essentials 2010 の分散システムへのインストール

Essentials コンソールと Essentials データベースをリモートシステムにインストールして、管理サーバーに接続することもできます。



リモートシステムにインストールされた Essentials コンソール

Essentials ユーザーコンソールのインストールおよび管理サーバーへの接続

このオプションを使って Essentials をインストールするには：

- 1 11 ページの「1台の Dell システムへの Essentials 2010 のインストール」に記載されるように、管理ステーションに Essentials をインストールします。
- 2 ローカルコンピュータの**管理者**グループメンバーであるユーザーアカウントを使って、リモートコンピュータにログインします。
- 3 System Center Essentials 2010 インストールメディアを光ドライブに挿入します。

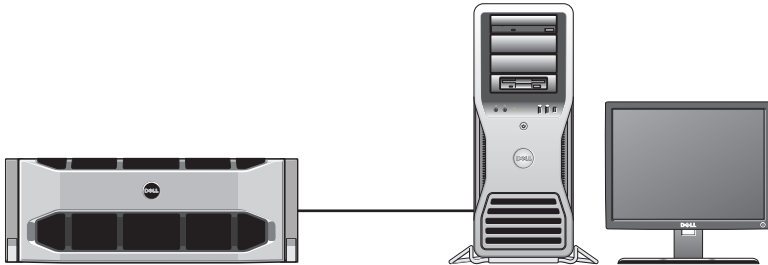
- 4 メディア ディレクトリを参照して、**SetupSCE.exe** ファイルを実行します。
- 5 **System Center Essentials 2010 セットアップウィザード** が起動したら、**Essentials コンソールのインストール** をクリックします。
- 6 **製品の登録** ページで、必要に応じて製品キーを入力し、**次へ** をクリックします。
- 7 **使用許諾契約** ページで、使用許諾契約内容を読んでから、契約を受け入れるチェックボックスを選択し、**次へ** をクリックします。
- 8 Essentials 2010 セットアップは、インストール先のシステム環境でハードウェアとソフトウェアの要件が満たされているかをチェックして、最小限必要な要件が満たされていない場合には再確認するように指示します。必要に応じて、ウィザードを終了し、必要な変更を加えて、インストールプロセスを再開します。システム要件上の問題を解決した後、**次へ** をクリックします。
- 9 Essentials 2010 にプログラムファイルを保存させる場所を指定して、**次へ** をクリックします。
- 10 **インストールの概要** ページを確認します。**前へ** をクリックして前のページに戻って変更するか、**インストール** をクリックして **Essentials コンソール** のインストールを開始します。
- 11 **セットアップ結果** ページが表示されたら、セットアップウィザードが閉じた後に **Essentials コンソール** を起動する場合はそのチェックボックスを選択して、**閉じる** をクリックします。
- 12 コンソールを起動したら、**サーバーに接続** ダイアログボックスが表示されます。**サーバー名** に、Essentials コンソールの接続先となる Essentials 管理サーバーのコンピュータ名を入力して、**接続** をクリックします。



メモ : Essentials とリモートレポートサーバーを設定する方法の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb437322.aspx> にある『System Center Essentials 2010 導入ガイド』の「System Center Essentials 2010 コンソールをリモートコンピュータにインストールする方法」の項を参照してください。

Essentials 2010 OEM ソリューションと Essentials データベースのリモートシステムへのインストール

このインストールでは、Essentials データベースが新しくインストールされたか既存の SQL サーバーのデータベースインスタンスを使ってインストールされ、ドメインの一部としてすぐに利用できます。



SQL Server 2008 SP1 をインストールしたリモートシステム上の Essentials データベース

このセットアップは、Essentials 2010 で再利用したい一元管理データベースサーバーがある場合に使用できます。

- 1 11 ページの「1 台の Dell システムへの Essentials 2010 のインストール」で定義したとおりに管理ステーション上への Essentials 2010 のインストールを開始して手順 1 ～ 手順 8 に従います。
- 2 Essentials 2010 のインストール時に、お使いのシステム環境で Essentials 2010 がこの目的に使用できるリモートデータベースサーバーを見つけるオプションを選択してから、**次へ** をクリックします。
- 3 11 ページの「1 台の Dell システムへの Essentials 2010 のインストール」で定義されている手順 11 から始めて、Essentials 2010 のインストールを完了します。

管理サーバー上での Essentials のインストールが完了した後、Essentials レポートコンポーネントをリモート SQL サーバーにインストールします。

レポートサーバーのインストールと設定


レポートサーバーをインストールするには

- 1 インストール時に選択したリモートデータベースサーバーがあるコンピュータの光ドライブに Essentials インストールメディアを挿入します。
- 2 システム管理者としてシステムにログインして、インストールメディアから **SetupSCE.exe** ファイルを実行します。
- 3 System Center Essentials 2010 セットアップウィザードが起動したら、**Essentials レポートのインストール** をクリックします。
- 4 **Essentials サーバーの場所** ページで、表示されているサーバーが Essentials 2010 管理サーバーであることを確認します。表示されているサーバーが Essentials 2010 管理サーバーでない場合は、**サーバーの選択** をクリックして、Essentials 2010 管理サーバーを見つけて選択し、**次へ** をクリックします。
- 5 **製品の登録** ページで、必要に応じて製品キーを入力し、**次へ** をクリックします。
- 6 **使用許諾契約** ページで、使用許諾契約内容を読んでから、契約を受け入れるチェックボックスを選択し、**次へ** をクリックします。
- 7 Essentials 2010 セットアップは、インストール先のシステム環境でハードウェアとソフトウェアの要件が満たされているかをチェックして、最小限必要な要件が満たされていない場合には再確認するように指示します。システム要件上の問題を解決した後、**次へ** をクリックします。
- 8 Essentials 2010 セットアップは、データベースサーバーインスタンスを使って、Essentials が使用するデータを保存するためのデータベースをホストします。Essentials が使用する SQL Server Database Services インスタンスが **データベースサーバーインスタンス** リストビューに表示されます。**次へ** をクリックします。
- 9 ローカル Reporting Services インスタンスが表示されます。インスタンスが複数 URL を持つ場合にはレポートサーバーの URL を選択してから、**次へ** をクリックします。
- 10 Essentials でプログラムファイルを保存する場所を指定します。**次へ** をクリックします。
- 11 Essentials 管理者アカウントのパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。

- 12 動作データレポートに参加するかどうかを選択して、**次へ**をクリックします。
- 13 **インストールの概要** ページを確認します。**前へ**をクリックして前のページに戻って変更するか、**インストール** をクリックして **Essentials Reporting** をインストールします。

Essentials 2010 セットアップはインストールの進行状況を表示し、ウィザードが閉じた後すぐに Essentials Reporting を使用できます。

 **メモ** : Essentials とリモートレポートサーバーを設定する方法の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/ff603577.aspx> にある『System Center Essentials 2010 導入ガイド』の「System Center Essentials 2010 Reporting をリモートコンピュータにインストールする方法」の項を参照してください。

 **メモ** : リモート接続用に SQL2008 データベースを設定する方法については、[http://msdn.microsoft.com/en-us/library/dd857537\(VS.85\).aspx?ppud=4](http://msdn.microsoft.com/en-us/library/dd857537(VS.85).aspx?ppud=4) を参照してください。

Essentials 2010 へのアップデート

既存の Essentials 2007 SP1 と Systems Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 2008 OEM のバンドルを Essentials 2010 OEM ソリューションにアップグレードできます。アップグレードプロセスは、Essentials 2007 SP1 をアップグレードして Essentials 2010 の VMM コンポーネントをインストールします。SCVMM 2008 はアップグレードしません。Windows PowerShell を使って SCVMM ライブラリ共有を Essentials 2010 に追加する必要があります。ライブラリ共有を追加した後、SCVMM 2008 をアンインストールします。Essentials 2010 アップグレードの詳細な手順については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc339466.aspx> を参照してください。

物理ハードウェア管理用 Dell Management Pack

Dell Management Pack バージョン 4.0

Dell Management Pack Suite バージョン 4.0 は、個々の Dell ハードウェアを管理できるようにするスタンドアロン管理パック 5 つから成ります。Dell Management Pack Suite スイートバージョン 4.0 のコンポーネントは次の通りです。

- **Dell Base Management Pack** : これは 4.0 用の基本管理パックです。これは全管理パックに共通で、Essentials 管理サーバーに **Dell ハードウェアグループ** を作成します。Dell ハードウェアはすべて **Dell ハードウェアグループ** 下にまとめられます。
- **Dell Server Management Pack Suite** は、Dell Power Edge/ Power Vault サーバーシステムの検出と管理に使用します。Dell サーバーは Microsoft Windows Active Directory® ベースの検出機能を使って検出されますが、DRAC や CMC デバイスは SNManagement Pack (シンプルネットワーク管理プロトコル) を使って帯域外で検出されます。
- **Dell Client Management Pack** は、Dell Precision、Dell Latitude、Dell Optiplex システムなどの Dell クライアントシステムの検出と管理に使用されます。Dell クライアントシステムは、Windows Active Directory ベースの検出により検出されます。



メモ : Dell Vostro システムは、**Dell Client Management Pack** を使用して検出した場合、**Dell 管理クライアントデバイス** として分類されません。

- **Dell PowerVault MD Storage Array Management Pack Suite** は、MD 3000、MD 3000i、ダイジーチェーン MD 1000 ストレージアレイなどの Dell Power Vault MD ストレージデバイスの検出と管理に使用します。
- **Dell Printer Management Pack** は、Dell ネットワークプリンタの検出と管理に使用します。
- **Dell EqualLogic Storage Management Pack Suite** は、ネットワークセグメントの一部である Dell EqualLogic PS シリーズアレイの検出と管理に使用します。

Dell Management Packs 4.0 の特徴

1 Dell Server Management Pack Suite v4.0 :

この管理パックスイートは、次のコンポーネントから構成されています。

- a Dell Base Management Pack:** これはベース管理パックで、Dell Management Pack バージョン 4.0 スイート下の全ての管理パックに共通しています。これは Essentials Management Server で Dell ハードウェアグループを作成するために使用します。



メモ: 他の管理パックをインポートする前に Dell Base Management Pack をまずインポートする必要がありますが、Dell PRO Management Pack ではこれは必要ありません。


- b Scalable Server Management Pack:** この管理パックは、サーバーコンポーネントを高レベル（グループレベルまで）でモデル化します。例えば、メモリコンポーネントは、メモリグループレベルまでしかモデル化されません。メモリユニットインスタンスは、この管理パックによってモデル化されません。Scalable Server Management Pack:

- DRAC 4 と DRAC5 の検出と監視のサポートを提供します。
- ストレージコントローラ、そのコンポーネント、そして正常性のロールアップステータス（サーバー用）の高度な属性サポートを提供します。
- Dell PowerEdge/PowerVault システム上で稼動している Dell OpenManage™ Server Administrator (OMSA) や OpenManage Storage Systems (OMSS) から受信したイベントのハードウェア計装警告を表示します。

この管理パックは以下のオプションも提供します。

- Server Administrator コンソールの起動
- DRAC、iDRAC 6 コンソールの起動
- ベースボード管理コントローラ（BMC）搭載の Dell システムの高度な電源制御タスク
- OpenManage Windows のイベントログのレポートの提供
- 検出および監視用に Dell デバイスのカスタマイズと設定
- 対応 PM バスを持つ Dell サーバーのパフォーマンスと電源モニタ

- c **Detailed Server Management Pack:** Detailed Server Management Pack は Scalable Server 管理パックの拡張です。この管理パックは、Scalable Server Management Pack でモデル化されるコンポーネントの詳細をモデル化します。たとえば、メモリユニットはこの管理パックによってモデル化され、このモデルは、Scalable Server Management Pack でモデル化された メモリグループに属します。

 **メモ：** 中小規模ビジネスのお客様には、Detailed Server Management Pack と Essentials の使用を推奨します。Detailed Server Management Pack は、Scalable Server Management Pack より多くのハードウェア属性、システムインベントリデータ、レポートを表示します。管理下コンピュータ数が 300 台を超える場合は、Scalable Server Management Pack の使用を推奨します。

Dell Server Scalable Management Pack と Dell Server Detailed Management Pack の詳細については、Dell Server Management Pack Suite のユーザーガイドを参照してください。

- d **Informational-alerts-On Override Utility:** Dell Server Scalable や Detailed Management Pack を搭載した Essentials コンソールではデフォルトで情報警告は無効になっています。このオーバーライドユーティリティは、オーバーライドでもって、Scalable Server Management Pack の一部として定義されているすべての情報警告を有効にします。したがって、このユーティリティをインポートする前に、必ず Scalable Server Management Pack をインポートするようにしてください。
- e **Dell Remote Access Controller Management Pack:** この管理パックは、対応ファームウェアバージョンを実行しているネットワーク上の DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6 (モジュラとモノリシック) デバイスの検出と管理を行います。DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6 モジュラ、および iDRAC 6 モノリシックの各インスタンスは、Dell Remote Access 4 Group、Dell Remote Access 5 Group、iDRAC 6 Modular Group、iDRAC 6 Monolithic Group にそれぞれグループ化されます。
- f **Dell Chassis Management Controller Management Pack:** この管理パックは、対応ファームウェアバージョンを実行しているネットワーク上の CMC、DRAC/MC インスタンスの検出と管理を行います。CMC および DRAC/MC インスタンスは、Dell Modular Chassis Group (Dell モジュラシャーシグループ) 配下にグループ化されます。

2 Dell Client Management Pack v4.0

この管理パックは以下をサポートしています。

- OpenManage Client Instrumentation (OMCI) の対応バージョン搭載の Dell クライアントコンピュータ (Dell Latitude、Optiplex、Precision システム) の検出と管理
- 警告ビューの一部として OMCI から受信した警告の表示
- クライアントシステムのシャットダウンおよび再起動タスクの提供
- 検出および監視用に Dell クライアントシステムのカスタマイズと設定

3 Dell PowerVault MD Storage Array Management Pack Suite v4.0:

この管理パックの特徴は次のとおりです。

- コンポーネントの検出および正常性の監視、Dell PowerVault MD 3000 および MD 3000i ストレージアレイの警告表示。これには、Dell MD ストレージアレイの帯域外と帯域内の監視を含みます。
- Dell PowerVault MD 3000/MD 3000i ストレージアレイにデিজネーションされている Dell PowerVault MD 1000 ストレージアレイの管理と監視。
- ネットワーク上の PowerVault MD3000/MD3000i デバイスを検出する Dell 検出ユーティリティを含み、ストレージアレイの IP アドレスのリストを作成します。Essentials は、この IP リストファイルを使って、ストレージアレイを検出し、管理します。Dell 検出ユーティリティは、IPv4 および IPv6 アドレスを共にサポートしています。



メモ : Dell 検出ユーティリティの詳細については、このユーティリティのオンラインヘルプを参照してください。

- MD ストレージアレイイベントをトラブルシューティングするときの参照としてリカバリゲル情報を提供します。



メモ : 詳細については、Dell PowerVault MD Storage Arrays Management Pack Suite Version 4.0 の「リカバリゲル情報の評価」を参照してください。ユーザーガイドは、デルサポートサイト support.jp.dell.com/manuals から入手できます。

- MD Storage Array Management Pack でモデル化した各種コンポーネントの分かりやすいアイコンを表示します。

4 Dell Printer Management Pack v4.0:

この管理パックには、Dell ネットワークプリンタのスタンドアロン管理パックを含めることで前のリリースに比べてパフォーマンスの改善がいくつか提供されています。Dell Printer Management Pack は、シンプルネットワーク管理プロトコル (SNMP) バージョン 1 と SNMP バージョン 2 プリンタの両方に対応しています。

5 Dell EqualLogic Storage Management Pack Suite v4.0:

この管理パックの特徴は次のとおりです。

- EqualLogic PS シリーズアレイ (デバイス) の検出と管理を行います。
- 対応 EqualLogic デバイスのインベントリ、正常性の監視、メンバコンポーネントのロールアップを行います。
- EqualLogic グループと EqualLogic メンバーアレイの EqualLogic Webmember アレイの EqualLogic Web コンソールの起動タスクを提供します。
- **警告ビュー**の一部として EqualLogic デバイスで生成された SNMP ベースハードウェア警告を表示します。
- **ダイアグラム** ビューに EqualLogic Management Pack でモデル化した各種コンポーネントの分かりやすいアイコンを表示します。



メモ : Dell 管理パックでサポートされている Dell デバイスと計装のリストについては、該当する Dell 管理パックの readme を参照してください。

詳細については、デルサポートサイト support.dell.com/manuals にある以下の管理パックのユーザーガイドを参照してください。

- Dell Server Management Pack Suite v4.0 UG
- Dell PowerVault MD Storage Array Management Pack Suite v4.0 UG
- Dell Client Management Pack v4.0 UG
- Dell Printer Management Pack v4.0 UG
- Dell EqualLogic Storage Management Pack Suite v4.0 UG
- 仮想化 Dell サーバー用 Dell PRO Management Pack UG

Dell Performance and Resource Optimization Management Pack 2.0 (PROPack) の特徴

Dell OEM Essentials 2010 ソリューションにより、管理者は一台のコンソールを使用して、物理リソースや仮想ビジネスサービスの一元管理を行うことができます。

Essentials 2010 サーバーは Dell OpenManage スイートと統合されて、Dell サーバーに基づく Microsoft Hyper-V 仮想環境の管理が簡素化されています。この統合は、Dell OpenManage 正常性アラートを Essentials に PRO Tips として渡し、Essentials 2010 からリカバリ処置を実行する Dell PRO Pack の機能に基づきます。Dell PRO Pack リカバリ処置は、Dell サーバーインフラストラクチャで稼動する重要なサービスのダウンタイムを最小限に抑えます。PRO Pack は、仮想ホストを正常に動作するホストに移行する、またはサーバーホストの正常性状態に基づいてホストをメンテナンスモードにする、などの改善措置を推奨します。

Dell Server PRO Pack バージョン 2.0 は、仮想環境の正常性を常に監視することで、Windows Server 2008 x64 ベースのハイパーバイザが稼動するシステムをサポートしています。Dell Server PRO Pack バージョン 2.0 は、Windows 2008 R2 搭載ホスト上への仮想マシン (VM) のライブ移行オプションを提供します。非 R2 ホストでは、クイック移行オプションを利用できません。

Essentials 2010 の統合コンソールでは、以下の PRO 機能は直接利用できません。

- ユーザーが SCE コンソールでホスト用の PRO Tips を無効にすると、そのホストの状態は「監視」から「非監視」に変更されます。
- ホストが複数 VM を持っており、ユーザーがそのうちいくつかの VM の PRO Tips を無視したい場合に VM をホストレベルの PRO 処理から除外するオプションはありません。
- PRO Tips のバルク実装/棄却オプションはありません。
- Dell ロゴは、PRO Tips ウィンドウでの個々のイベントの一部として表示することはできません。



メモ：詳細については、デルサポートサイト support.dell.com/manuals にある『PRO Pack 2.0 ユーザーガイド』を参照してください。

Dell 管理パックと Dell PRO 管理パックのインポート

Dell 管理パック や Dell PRO をインポートするには、Essentials Import Management Pack ウィザードを使用します。

- 1 管理パックは、デルサポートサイト support.dell.com からダウンロードできます。
 - 各 Dell デバイスの管理の場合は、Dell Management Pack バージョン 4.0 をダウンロードします。
 - Dell サーバーの場合は、Dell PRO Management Pack バージョン 2.0 をダウンロードします。



メモ：Dell 管理パックや Dell PRO 管理パックのダウンロードには 31 ページの「役立つ Dell のリンクおよびその他のリソース」からのリンクを使います。



メモ：管理パックは、自己解凍型の .exe または .msi ファイルです。

- 2 ダウンロードしたファイルをローカルシステムのハードドライブ上のコピー先ディレクトリにコピーします。
- 3 自己解凍型の .exe または .msi ファイルを開き、すべての管理パックを抽出します。
- 4 **スタート** → **プログラム** → **System Center Essentials 2010** の順でクリックし、**System Center Essentials Console** を選択します。
- 5 **Operations Console (操作コンソール)** のナビゲーションペインで、**Administration (管理)** をクリックします。
- 6 **Administration (管理)** ツリーを展開し、**Management Packs (管理パック)** を右クリックして、**Import Management Packs (管理パックのインポート)** を選択します。
- 7 管理パックファイルの場所を指定します。通常は、自己解凍型 .exe ファイルのダウンロード先および解凍先と同じ場所にあります。
- 8 インポートする管理パック / ユーティリティを選択し、**開く** をクリックします。
- 9 **管理パックのインポート** 画面が開いて、選択した管理パック / ユーティリティが **インポートリスト** に表示されます。
- 10 タスクを完了するには、**インストール** をクリックします。



メモ：Dell Management Pack (Dell PRO Management Pack 以外) またはどのユーティリティをインポートする場合にも、その前に必ず Base Management Pack ユーティリティをインポートしてください。Dell Server Management Pack の場合は、Detailed Server Management Pack や Informational-alerts-On Override Utility をインポートする前に Scalable Server Management Pack をインポートしてください。


サーバーおよびビジネス クライアントコンピュータ用 Dell Update Package と Dell カタログ

Dell OEM System Center Essentials 2010 では、システム管理者は管理下コンピュータで必要な Dell アップデートパッケージ (DUP) を表示、ダウンロード、実装できます。

Essentials 2010 を使った Dell アップデートは、Dell Catalog ファイルとスタンドアロンの DUP を使って実行できます。


- DUP には通常、機能の改善やシステムおよびソフトウェアの最新性と該当するシステムモジュール (ファームウェア、BIOS、ドライバおよびソフトウェア) との互換性を保つための変更が含まれます。

Dell ハードウェア上にソフトウェアを展開する場合は、該当する DUP が必要です。DUP は、デルサポートサイト support.dell.com にある法人のお客様 (従業員数 500 名まで) のサポート → ドライバおよびダウンロード ページから入手できます。

 **メモ**：先へ進む前に、ダイアログウィンドウに表示されているすべての必要コンポーネントをダウンロードしてインストールします。

- Dell Server Update Catalog は、サポートされるあらゆる Dell システムの DUP を含む .cab ファイルです。DUP には、機能の改善やシステムおよびソフトウェアの最新性と該当するシステムモジュール (ファームウェア、BIOS、ドライバおよびソフトウェア) との互換性を保つための変更が含まれます。

Dell ハードウェアでアップデートタスクを実行するには、Dell サーバーアップデートカタログが必要です。これらのカタログは、<http://ftp.dell.com/catalog/> または <ftp://ftp.dell.com/catalog/> から取得できます。

 **メモ**：先へ進む前に、ダイアログウィンドウに表示されているすべての必要コンポーネントをダウンロードしてインストールします。


管理下コンピュータを Dell カタログファイルでアップデートする

Essentials 2010 でアップデートを管理するには、Essentials コンソールでアップデートボタンをクリックすることでアップデートの概要 ペインにアクセスします。概要 ペインでは、アップデートを見やすく、管理下コンピュータで必要なアップデートを確認し、これらのシステムへのアップデートを中央システムから実装し、実装およびその他の関連レポートを表示することができます。


Essentials 2010 では、Dell から貴社の IT 環境にカタログをインポートしたり、ソフトウェアやアップデートを配布したりできます。Essentials 2010 は、貴社環境のスキャンの結果から利用可能な検証前パートナーカタログを検出したり、指定した URL からカタログをインポートしたりできます。ハードウェアやソフトウェアベンダから提供されたカタログのコンテンツは、.cab ファイルに圧縮され、通常そのベンダの証明書で署名されます。以下の手順で、カタログのコンテンツを取得します。

パートナーのカタログ (Dell のカタログ) からアップデートをインポートするには、以下の手順に従ってください。

- 1 Essentials コンソールで、**アップデートの概要** ペインのパートナーカタログから **アップデート** をクリックしてから **アップデートのインポート** をクリックします。
- 2 **アップデート カatalogのインポート** ウィザードが開いたら、**次へ** をクリックします。


 **メモ**：ダイアログボックスが開いて、インターネットからダウンロードしたファイルはコンピュータに危害を加える可能性があるという警告が表示され、続行することを承認する必要があります。**はい** をクリックして次に進みます。

- 3 **製品カタログの選択** ページで、**はい** をクリックします。パートナーアップデートカタログをインポートするには、指定したカタログをインポートして、ドロップダウンリストから Dell カatalog を選択してから、**次へ** をクリックします。

 **メモ**：特定の URL またはファイル場所からカタログをインポートする場合は、**いいえ** をクリックします。デルの FTP の URL (<ftp://ftp.dell.com>) または <http://ftp.dell.com> をテキストボックスに入力して、**次へ** をクリックします。

- 4 Essentials がカタログを検索している間、**カタログの確認** ページに進行状況バーが表示されます。アップデートのソースの詳細を表示したダイアログボックスが開き、カタログのコンテンツはコンピュータに危害を与える可能性があるという警告が表示されます。ソースを信頼する場合は **はい** を、しない場合は **いいえ** をクリックします。
- 5 カatalogが読み込まれたら、インポートできるパッケージとインポートできないパッケージのリストを表示して、各パッケージの内容の詳細を表示できます。アップデートの詳細の確認を終えたら、**インポート** をクリックします。
- 6 Essentials がアップデートをインポートしている間、**カタログのインポート** ページに進行状況バーが表示されます。アップデートのインポートが完了したら、**終了** をクリックします。

ウィザードで作成した新しいビューが表示されます。サードパーティのカタログからのソフトウェアやアップデート用に作成したビューは、導入状態を含め、Microsoft のアップデート用と同じレベルの詳細を表示します。

 **メモ** : Essentials 2010 でのアップデートの管理の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/ff603598.aspx> にある『System Center Essentials 2010 操作ガイド』を参照してください。

Essentials 2010 ソフトウェアコンソールからのソフトウェアの導入

Essentials 2010 では、中央システムから管理下コンピュータに一元的にソフトウェアを導入することができます。Essentials 2010 を使って、導入するソフトウェアをパッケージ化し、コンピュータグループを使ってどのコンピュータにソフトウェアをインストールするかを指定してから、レポートを実行して導入状態を監視します。ソフトウェアパッケージは、デルサポートサイト support.dell.com からダウンロードできます。

Essentials 2010 は、.msi と .exe ファイル拡張子を持つソフトウェアの導入をサポートしています。

ソフトウェアを導入するには、Essentials コンソールでソフトウェア ボタンをクリックして、ソフトウェア ペインを開きます。

管理下コンピュータへのソフトウェアの導入には、以下の段階があります。

- 1 **ソフトウェア導入パッケージの作成**：導入に必要なソフトウェア ソースファイル、ソフトウェアをインストールするコマンドライン、その他ソフトウェアの導入に必要な一般情報を指定する必要があります。

アップデートをローカルに保存しないことを選んだ場合、Essentials 2010 はソースファイルとその他のパッケージ関連ファイルをデフォルトディレクトリ `%SYSTEMDRIVE%\SCE\UpdateServicesPackages\<パッケージ>` ディレクトリ、または `%PROGRAMFILES%\Update Services\UpdateServicesPackages\` ディレクトリに保存します。

- 2 ソフトウェアの導入先コンピュータを含む既存のコンピュータグループを選択するか、新しいグループを作成します。
- 3 適切なコンピュータグループへの導入を承認します。
- 4 レポートと警告を表示して、導入の進行状況を監視し、ソフトウェアのインストールに失敗したコンピュータがあればその原因の特定に役立ちます。



メモ：Essentials 2010 でのソフトウェアの導入の詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb422945.aspx> にある『System Center Essentials 2010 操作ガイド』を参照してください。

役立つリンクおよびリソース

Essentials 2010 の重要文書

- System Center Essentials 2010 のリリースノートについては、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc180737> を参照してください。
- Essentials 対応設定については、以下をご覧ください。
<http://technet.microsoft.com/sce>
<http://www.microsoft.com>
- 『System Center Essentials 2010 操作ガイド』については、以下をご覧ください。
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=147115>.

このガイドでは、Essentials 2010 で利用できるさまざまな操作について説明しています。同スイッチモジュールには、次の機能があります。

- Essentials を使い始めるにあたって
- Essentials コンソールについて
- Essentials でのコンピュータや機器の管理
- サーバー環境の仮想化
- Essentials での監視
- Essentials での管理下コンピュータのアップデート
- Essentials でのソフトウェアの導入
- Essentials でのレポート
- Essentials での管理
- Essentials でのオーサリング
- System Center Essentials のバックアップとリストア
- Windows Server 2008 R2 のロゴ証明書について

- 『System Center Essentials 2010 導入ガイド』は、
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=180738> にあります。
このガイドは、System Center Essentials 2010 の導入プロセスを説明しています。以下について詳しく記載されています。
 - システム要件と対応プラットフォーム
 - 環境要件と留意事項
 - サポートされている導入トポロジ
 - Essentials の初期セットアップと設定のトラブルシューティング
 - Essentials をインストールする詳細な手順
 - Essentials を設定する詳細な手順
 - 導入後の問題のトラブルシューティング
 - Essentials 2010 のトラブルシューティング用のログファイル場所
 - Essentials をアンインストールする詳細な手順

Microsoft Essentials 2010 オンラインリソース

- TechNet: <http://technet.microsoft.com/sce>
- TechNet ブログ : <http://blogs.technet.com/systemcenteressentials/>
- TechNet フォーラム :
<http://social.technet.microsoft.com/Forums/en-US/systemcenteressentials/threads>

Essentials 2010 Knowledge Base 記事

インストール画面の「System Center Essentials 2010 への最新アップデートのダウンロード」のチェックボックスが使用できないという問題を解決するには、<http://support.microsoft.com/kb/981950> を使用してください。

Hyper-V 役割を有効にして Windows Server 2008 が稼動するホストサーバーには、以下のアップデートがインストールされている必要があります。

- Microsoft KB 更新プログラム 950050
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=160367>
- Microsoft KB 更新プログラム 956589
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=160370>
- Microsoft KB 更新プログラム 956774
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=160372>

役立つ Dell のリンクおよびその他のリソース

Dell 管理パックのダウンロードリンク

- Dell Server Management Pack Suite 4.0:
<http://support.us.dell.com/support/downloads/format.aspx?releaseid=R237719>
- Dell Client Management Pack 4.0:
<http://support.us.dell.com/support/downloads/format.aspx?releaseid=R245492>
- Dell Printer Management Pack 4.0:
<http://support.us.dell.com/support/downloads/format.aspx?releaseid=R247998>
- Dell PowerVault MD Storage Array Management Pack Suite 4.0:
<http://support.us.dell.com/support/downloads/format.aspx?releaseid=R255600>
- Dell EqualLogic Management Pack Suite 4.0:
<http://support.us.dell.com/support/downloads/format.aspx?releaseid=R266477>
- Dell Performance and Resource Optimization (PRO) Management Pack
バージョン 2.0:
<http://support.us.dell.com/support/downloads/format.aspx?releaseid=R252410>
- Dell Management Pack (ユーザーガイド、readme など) :
<http://support.dell.com/support/edocs/software/smconnect/msscom/index.htm>


Dell サーバーおよび Dell クライアントコンピュータ用 Dell アップデート

Dell アップデートパッケージ (DUP) : <http://support.dell.com>

Dell サーバーおよびクライアントカタログ :

<http://ftp.dell.com/catalog> (または) <ftp://ftp.dell.com/catalog>

Essentials 2010 の ベストプラクティス

- リモートクラスタ環境に実行ポリシーを導入するには、PRO スクリプトを実行するすべての VM ホスト上の PowerShell コマンド `Set-ExecutionPolicy RemoteSigned` を実行します。
- Essentials コンソールの Windows コンピュータタスクで、**Detect Software and Updates Now (今すぐソフトウェアを検出してアップデートする)** を実行します。これにより、そのシステムで利用できるソフトウェアやアップデートが検出されます。
- インポートされたアップデートが拒否された場合、それらは現在のビューから削除されます。また、これらのアップデートをカタログファイルからインポートできなくなります。拒否されたアップデートを表示するには：
 - a アップデートを右クリックします。新しいアップデートビューの作成ウィザードが表示されます。
 - b 特定のアップデートを選択し、**どれでも**を選択します。
 - c ダイアログボックスで、**拒否されたアップデート**を選択します。これにより、拒否されたすべてのアップデートを表示する **新規ビュー** が作成されます。
- Essentials **Create New Guest Machine** ウィザードを使用してオペレーティングシステムをインストールした場合、オペレーティングシステムの .iso イメージを Essentials ライブラリサーバーに保存します。
 **メモ** : SCE 2010 OEM ソリューションのベストプラクティスの詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=180739> にある『System Center Essentials 2010 操作ガイド』を参照してください。

Essentials 2010 に関する Microsoft のスケーラビリティガイドライン

- 推奨される最小ハードウェア構成の単一サーバー管理ステーションは、SQL Express データベース搭載の 150 台までのコンピュータを管理できます。
- 推奨される最小ハードウェア構成の単一サーバー管理ステーションは、SQL Standard データベース搭載の 300 台までのコンピュータを管理できます。
- 推奨される最小ハードウェア構成の分散サーバー管理ステーションは、SQL Standard データベース搭載の 550 台までのコンピュータを管理できます。



メモ : System Center Essentials の最小ハードウェア要件については、[http://technet.microsoft.com/hi-in/systemcenter/essentials/bb422876\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/systemcenter/essentials/bb422876(en-us).aspx) を参照してください。

重要度に基づいてフィルタする PRO Tips の設定

監視して実装する PRO Tips の重要度を設定できます。

- 警告と重要 または
- 重要のみ

PRO Tips のフィルタの詳細については、<http://technet.microsoft.com/en-us/library/ff678231.aspx> を参照してください。

Performance and Resource Optimization (PRO) Tips の設定

Essentials 2010 の PRO Manageability 機能を使用するには、Windows Power Shell を使って Performance Resource Optimization (PRO) Tips を設定する必要があります。PRO Tips を監視し、自動または手動で実装するように PRO を設定できます。また、PRO Tips の監視と実装をオフにすることもできます。PRO Tips のこの機能を有効にする手順については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=190539> を参照してください。

VM 配置ホストを有効または無効にする

Essentials 2010 では、Windows Power Shell スクリプトを使って、仮想マシンホストとしてのコンピュータの配置を有効または無効にできます。

対応 Dell ハードウェア

- 管理下デバイス：すべての x8xx から xx1x の PowerEdge および PowerVault システム
- 管理ステーション：すべての x9xx から xx1x の PowerEdge システム
- Dell PowerEdge/PowerVault サーバーシステムに搭載される Dell リモートアクセスコントローラ - DRAC 4、DRAC 5、DRAC/MC、iDRAC 6 モジュール、iDRAC モノリシック、シャーシ管理コントローラ (CMC) といった Dell リモートアクセスコントローラ
- 現在出荷されているすべての Latitude、Optiplex、Precision の各種クライアントシステム
- Dell Printer Management Pack の readme に対応と記載されている Dell ネットワークプリンタ
- MD3000、MD3000i、デージーチェーン接続 MD1000 などの Dell PowerVault モジュラストレージデバイス
- Dell EqualLogic Management Pack Suite の readme に対応と記載されている、現在出荷されているすべての Dell EqualLogic PS シリーズアレイ



メモ：対応 Dell システムとデバイスのリスト、Dell OpenManage のバージョンとデバイスファームウェア関連の情報は、デルサポートサイト support.dell.com/manuals にある該当 Dell 管理パックの readme を参照してください。